



Mini Disclosure 2015

ミニディスクロージャー誌

第144期 営業のご報告 平成26年4月1日 ▶ 平成27年3月31日



HigoBank

うるおいある未来のために。

肥後銀行

1 お客様第一主義に徹し、最適の金融サービスを提供します

私たちは、お取引先、株主様をはじめとしたお客様が、当行に対して何を望み何を期待しておられるのかを的確につかみ、その期待に十分お応えするため、個々のお客様にふさわしい最適な金融サービスの提供を目指します。

2 企業倫理を遵守し、豊かな地域社会の実現に積極的に貢献します

私たちは、社会における当行の使命と役割を十分認識し、基本常識に沿って、高い倫理感を持って行動します。そして、地域とともに歩む金融機関として、地域社会の真の発展に貢献できる銀行を目指します。

3 創造性に富み、自由闊達で人間尊重の企業文化を確立します

私たちは、常に新鮮な目で仕事を見つめ、自らの創意工夫で主体的に仕事にチャレンジする雰囲気職場全体に広げ、コミュニケーションが行き届いた風通しのよい企業文化を育んでいきます。そして、活気にあふれた新しい企業イメージを形成していきます。

contents

トップメッセージ	1	鹿児島銀行との経営統合	12
業績ハイライト(単体)	2	単体財務諸表	14
第六次中期経営計画	3	連結財務諸表	15
肥後銀行、これまでの歩み	4	グループ会社	16
創立90周年事業	6	当行の概要・株式のご案内	17
		株主メモ	裏表紙

さらなる地域経済の発展と地域社会への貢献を目指して



取締役頭取 甲斐隆博

平素より格別のご愛顧を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

当行に対するご理解を一層深めていただくため、ミニディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、当期の国内経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などの影響がみられたものの、企業収益が改善に向かうなかで、設備投資は緩やかな増加基調を維持し、また、雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費が基調的には底堅く推移するなど、緩やかな回復基調を続けました。

一方、県内経済も国内経済同様に、消費税率の引き上げに伴う影響もあり、個人消費や住宅投資に一部弱めの動きがみられるものの、県内製造業の生産が着実に回復していることに加え、雇用・所得環境については労働需給面、所得面ともに改善するなど、基調的には緩やかな回復を続けました。

以上のような経済環境の中で、当行は「第五次中期経営計画第2フェーズ」の最終年度として、「お客様と伴に価値共創⇄最適な金融サービスの提供」をテーマに、お客様との取引拡大・深化に向け取組んでまいりました結果、別項記載のとおり業績を収めることができました。これもひとえに皆様方のあたたかいご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

本年度は、創立90周年を迎えるとともに、「可能性の追求～潤いある未来の創造へ～」をテーマとする第六次中期経営計画をスタートさせ、私ども役職員一同、皆様方のご期待にお応えできるよう、格段の努力をいたす所存でございます。

また当行は、本年3月に、活力ある地方の実現に向けて地元との信頼関係を更に強化し、九州においてお客様から真に愛される最良の金融グループを目指すため、鹿児島銀行との経営統合に関して最終合意をいたしました。現在、10月の持株会社設立に向けた準備を進めているところでございます。

今後とも何卒倍旧のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

業績ハイライト(単体)

業務純益 業務粗利益の減少に加え、経費及び一般貸倒引当金繰入額が増加したこと等により前期比16億円減少の169億円となりました。

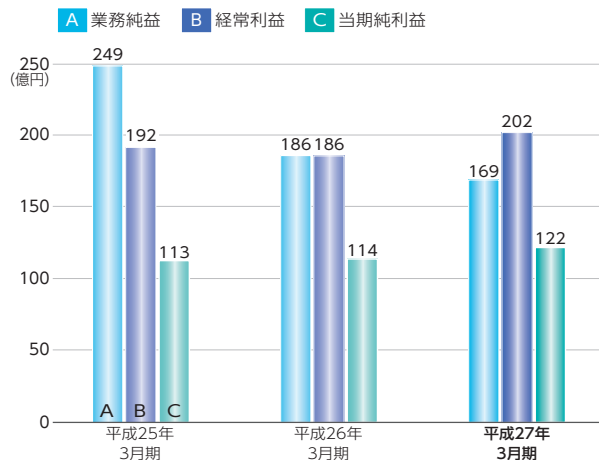
経常利益 不良債権処理額の減少及び株式等関係損益の増加による臨時損益の増加等により、前期比16億円増加の202億円となりました。

当期純利益 前期比7億円増加の122億円となり、過去最高益となりました。

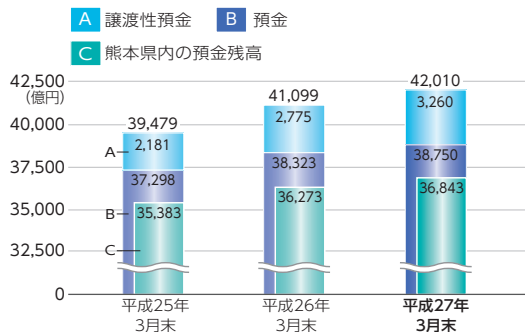
預金等 熊本県内の個人・法人預金を中心に増加し、譲渡性預金を含む預金等残高は前期末比910億円増加の4兆2,010億円(増加率2.2%)となりました。

貸出金 貸出金残高は熊本県内を中心に増加し、前期末比1,156億円増加の2兆6,890億円(増加率4.5%)となりました。

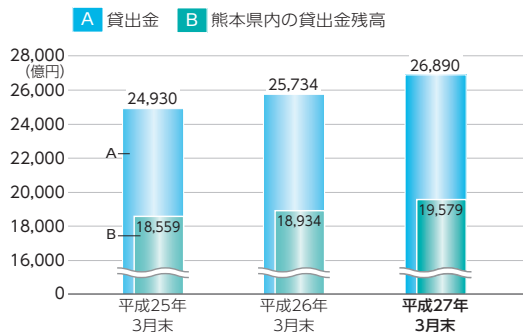
収益の推移



預金等の推移



貸出金の推移



第六次中期経営計画

地方経済を長期的観点から展望した場合、人口減少社会における経済規模の縮小や少子高齢化の進展による経済構造の変化が予想されています。このような環境下、地域密着を更に深化し、地域の産業や雇用を創出していくという地方創生に積極的に取り組むことが地方銀行としての使命であると認識しています。

当行は、構造的に縮小傾向にある地方経済を維持発展させていく構造対策のスタートを切るものとして第六次中期経営計画を策定しました。

肥後銀行グループでは、尚一層コーポレートガバナンス強化に取り組むとともに、第六次中期経営計画を通じて企業理念である「お客様第一主義」を実践し、管理していくことで、マーケティングを強化し、お客様との価値共創を図っていきます。

計画期間 平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間

目指す姿 最良の金融サービスを提供し、お客様から真に愛される銀行

長期的な目標として、風土改革構造改革を継続し、環境変化に柔軟に適應できる強靱な企業体質を構築していくとともに、地域密着を推し進め地方経済活性化に貢献することにより、企業理念の実現に向けて取り組んでいきます。

テーマ 可能性の追求 ~潤いある未来の創造へ~

金融機関を取り巻く環境が大きく変化する中、更に経営統合という新たなステージに立つにあたって、今までの考え方・やり方に囚われず、永続的な成長を目指していくため、「可能性の追求~潤いある未来の創造へ~」をテーマとしました。可能性を追求する分野として、右記の3項目を掲げております。

1. お客様との稠密な取引の拡大可能性

2. ヒトの成長可能性

3. 収益機会の拡大可能性

基本戦略 1. お客様第一主義の実践と管理

2. 経営統合効果の最大化

3. マーケティング戦略

4. マネジメント戦略

5. マンパワー戦略

財務目標 (平成29年度)

コア目標

業務粗利益 556億円

業務純益 159億円

単体当期利益 124億円

自己資本比率 12.5%

ROA 0.25%

OHR 70.4%

サブ目標

株主資本ROE 4.0%台

総預金+NCD平残 +2,600億円

総貸出金平残 +2,800億円

肥後銀行、 これまでの歩み

明治11年（1878年）に、肥後銀行の前身行である「宇土第百三十五国立銀行」が創立され、翌年4月に宇土町（現・宇土市）に開業しました。

明治29年（1896年）には、来民銀行・人吉銀行と合併し「九州商業銀行」に、さらに大正7年（1918年）に「熊本銀行」に改称しました。

大正14年（1925年）に、熊本・飽田・植木の三行が合併し、「肥後協同銀行」を設立、この年を、当行創立の年としています。

昭和3年（1928年）、「肥後銀行」に商号を変更しました。

その後、熊本県内の銀行の合同が進み、

昭和13年（1938年）に華北銀行から、

昭和17年（1942年）に小國・八代共立・井芹の三行から、営業を譲り受けました。

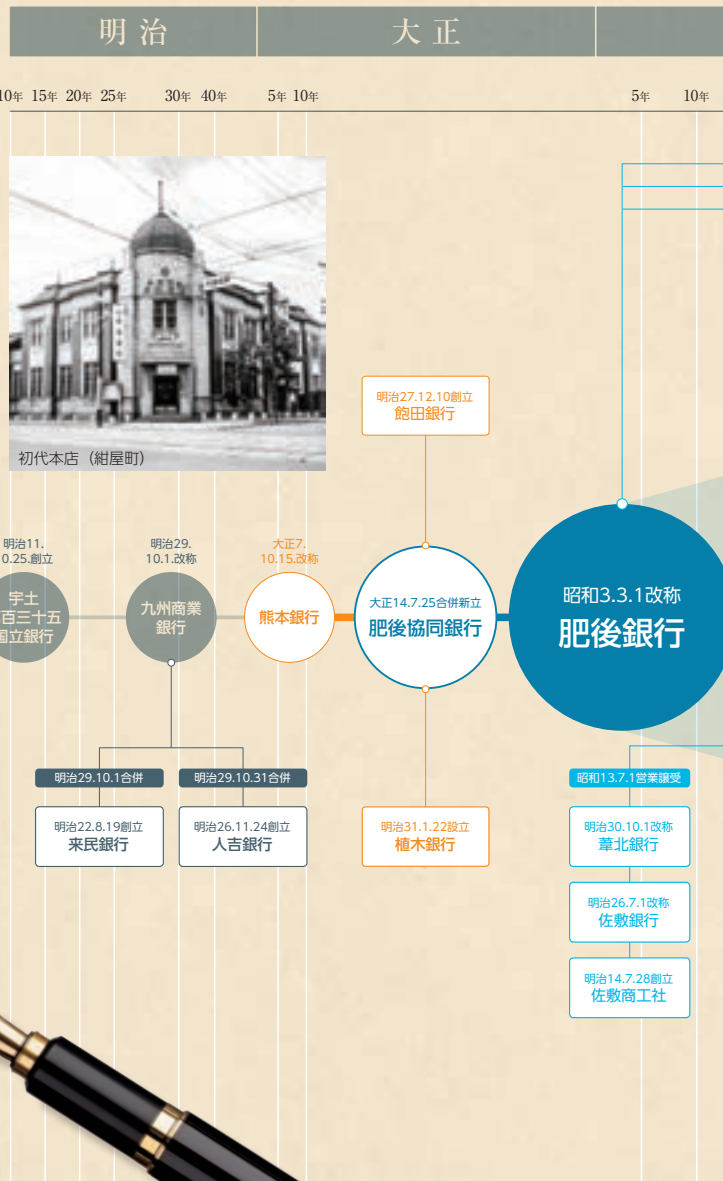
また、昭和期には、安田銀行を始めとして、

多くの銀行から県内の店舗を譲り受けてまいりました。

当行の初代本店は紺屋町に設置、花畑町の勧業館跡への移転を経て、昭和26年（1951年）、練兵町に

本店を新築・開業。以来、60年が経過しました。

建物の老朽化に対応し、3棟に分散していた本部機能の効率性を高めるため、平成22年（2010年）より、建替え構想の検討を開始、平成23年3月11日の東日本大震災を機に、計画を早め、平成27年、新しい本店ビルが完成いたしました。



昭和

平成

15年 20年 5年 27年

- 昭和 3. 4. 1 安田銀行隈府・富地・御船・松橋・小川支店・宇土出張所譲受
- 昭和 6. 11. 1 安田銀行人吉支店譲受
- 昭和 7. 4. 1 安田銀行山鹿・天草支店譲受

- 昭和18.11.15 三池銀行南関支店譲受
- 昭和19. 2. 10 長崎貯蓄銀行熊本支店譲受

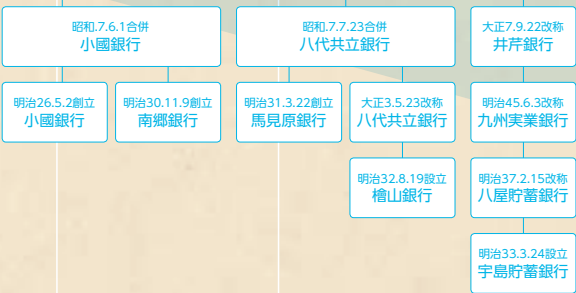
- 昭和20. 3. 25 筑邦銀行人吉・多良木支店譲受
- 昭和20. 6. 1 鹿児島興業銀行水俣支店譲受
- 昭和23. 8. 1 協和銀行八代支店譲受
- 昭和28. 3. 23 富士銀行高瀬支店譲受

昭和36. 9. 21 富士銀行八代支店譲受

- 昭和46. 6. 14 協和銀行熊本支店譲受
- 昭和46.11.22 三和銀行熊本支店譲受

昭和62. 2. 16 佐賀銀行熊本支店譲受

昭和17.12.1営業譲受



練兵町本店 (昭和26年)



(平成22年)

肥後銀行、これまでの歩み

新本店ビル 完成

基本テーマ 自然との共生、環境との調和



建築可能な容積の4割を 街にひらかれた空間へ提供

中心市街地の景観や環境と調和した規模・デザインとしました。
建築可能な最大の規模に比べて、建蔽率・容積率とも低く抑え、街にひらかれた空間を提供しています。



「武者返し」と「棚田」を モチーフにした外観

熊本城の「武者返し」と「棚田」をモチーフにした外観で、熊本の風土と文化を表現しています。



熊本の「水」と「みどり」 豊かな里山をイメージした庭

敷地の約2割を利用して、「里山」をイメージした庭を設けました。
当行の「水」と「みどり」の愛護への取り組みを表現しています。



<h4>防災への対応</h4>		<h4>環境への対応</h4>	
<p>免震構造</p>	<p>防潮板</p>	<p>太陽光発電施設</p>	<p>ダブルスキン (断熱・遮熱効果による空調負荷低減)</p>

新ブランドをスタート

当行は、これまで以上に、地元熊本のみなさまとのつながりを強めるとともに、地方銀行として更に地域のみなさまのお役に立ちたいとの思いから、“愛され、選ばれ続ける銀行”を目指し、平成4年以来23年ぶりに新しい肥後銀行ブランドをスタートいたしました。

「シンボルマーク」を刷新し、新たに「ブランドスローガン」を制定いたしました。また、看板、名刺、通帳、カードなど、お客さまとの重要な接点のデザイン改定を実施するほか、行員のリテラシーや接遇マナーの更なる向上などの施策にも取り組み、新しい「肥後銀行」を行員一丸となって、みなさまとともに創りあげていきます。

シンボルマーク



“潤環”

「うるおい（潤い）」と「循環」
を組み合わせた造語

〈デザイン〉

当行のイニシャル「H」と「∞」（無限）をモチーフにしたデザインは、永遠に続くうるおいのサイクルである“潤環”を表現しています。

また、中央のスクエアでつながる造形は、当行が環境やお客さまといったさまざまな要素や事象を、つなぐ存在でありたいとの思いを込めています。

〈カラー〉

地下水をイメージした青の“アクア・ブルー”は、思いやりやまごころといった誠実さを表しています。

また、みずみずしく輝く緑をイメージした“リーフ・グリーン”は、創造性や未来感を表しています。

ブランドスローガン

うるおいある未来のために。

豊かな恵みある日々の生活を表現するとともに、私たちが大切にしている、ふるさとくまもとの水とみどりへの想いを込めています。

現在もこれからも、ずっとみなさまにお役立ちするために、邁進していきたいという当行の想いを表現しています。

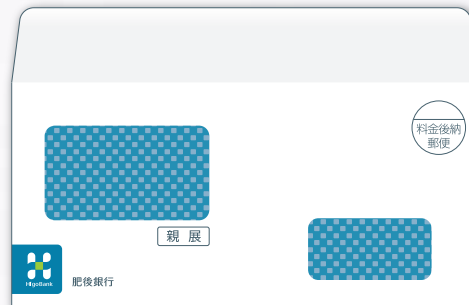
新デザイン展開イメージ



看板



名刺



封筒



通帳



キャッシュカード

「ひごっ子の森保育園」の開設

「女性活躍推進に向けた取組み」の一環として、
事業所内保育施設を開設

当行では、女性が仕事と家庭を両立し安心して働き続けられるよう環境整備を進め、女性が幅広い業務分野にチャレンジする機会をより積極的に提供することで、女性の能力開発とキャリア形成支援を行ってまいります。

そのひとつの施策として、「事業所内保育施設」を開設しました。当行および関連会社従業員の子育て世代が、育児をしながら安心して働くことのできる環境を提供し、女性の活躍を支援したいと考えております。



女性行員の制服をリニューアル

創立90周年事業の一環として、
6年振りに女性行員の制服をリニューアル

ユニフォームとしては導入実績が少ない上質な「ツイードチェック」の生地を採用。機能性を追求しながらも、ノーカラーや比翼仕立てのベストを取り入れ、上品かつ洗練されたデザインを実現しました。また、色は、お客様に安心感と親しみを持っていただける優しい色合いのブルーで統一しました。

デザイン

田山 淳朗 氏
(熊本県出身)

コンセプト

上品・上質
質感へのこだわり、
品格へのこだわり

洗練
ソフスティケート(洗練)
されたデザイン

機能性
動きやすさは心地よさ
(着心地)

親しみ易さ
すべての人に安心して
接していただける雰囲気をもった服

「肥後の里山ギャラリー」を開館

一階西側には、文化情報発信の拠点として、また、皆様に広く、ふるさと熊本の文化的所産や自然風土への理解と親しみを深めていただく場として、「肥後の里山ギャラリー」を設置しています。

24mの壁面展示ケースの他、公開承認施設レベルの設備を備えた展示スペースでは、熊本にゆかりのある歴史的文化財や、絵画、写真など、貴重な作品を展示してまいります。

館内には、デジタルミュージアムを設置し、永青文庫所蔵の「領内名勝図巻」全巻や、熊本県内の重要文化財等を、精細な画像でお楽しみいただけます。

また、永青文庫の古文書について学ぶセミナーや文化講演会、環境セミナー等も開催してまいります。



目的

地方で現実化しつつある諸問題、地域金融機関を取り巻く環境変化に対応するために、九州での存在感を更に発揮できる磐石な経営基盤を確立し、「地方創生」の実現に永続的に貢献します

設立予定の共同持株会社の社名

株式会社九州フィナンシャルグループ

グループ経営理念

わたしたち九州フィナンシャルグループは、持続可能な成長の実現に向け、以下の3つの理念を柱として、みなさまから真に愛される総合金融グループを目指します

1 お客様の信頼と期待に応え、最適かつ最良の総合金融サービスを提供します

わたしたちは、これまで培ってきた伝統・人材・想いを結集し、グループ力を最大限に発揮することで、お客様一人おひとりのニーズに寄り添った、きめ細やかで質の高いサービスをお届けし続けることをお約束します

2 地域とともに成長し、活力あふれる地域社会の実現に積極的に貢献します

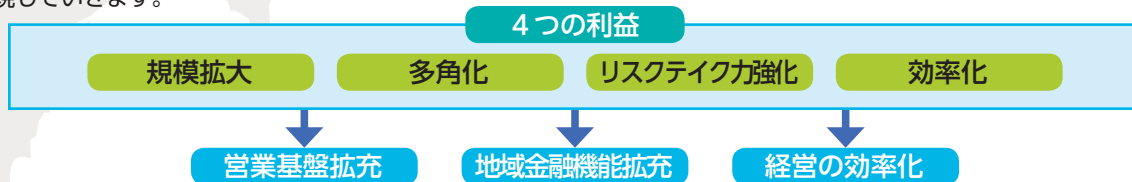
わたしたちは、地域のみなさまとともに成長する総合金融グループとして、県の枠を越え、活気と魅力に満ちあふれる、ふるさと九州の実現にむけて、貢献し続けることをお約束します

3 豊かな創造性と自由闊達な組織風土を育み、より良い未来へ向かって挑戦し続けます

わたしたちは、ふるさと九州を彩る自然のような、豊かな創造性と広がりある自由闊達な人材・風土を育むとともに、希望に満ちた未来を次の世代へつなぐため、一人ひとりが挑戦し続けることをお約束します

目指す相乗効果

グループ価値を向上し、ステークホルダーの皆さまの信頼とご期待に応えるために、経営統合による相乗効果を着実に実現していきます。

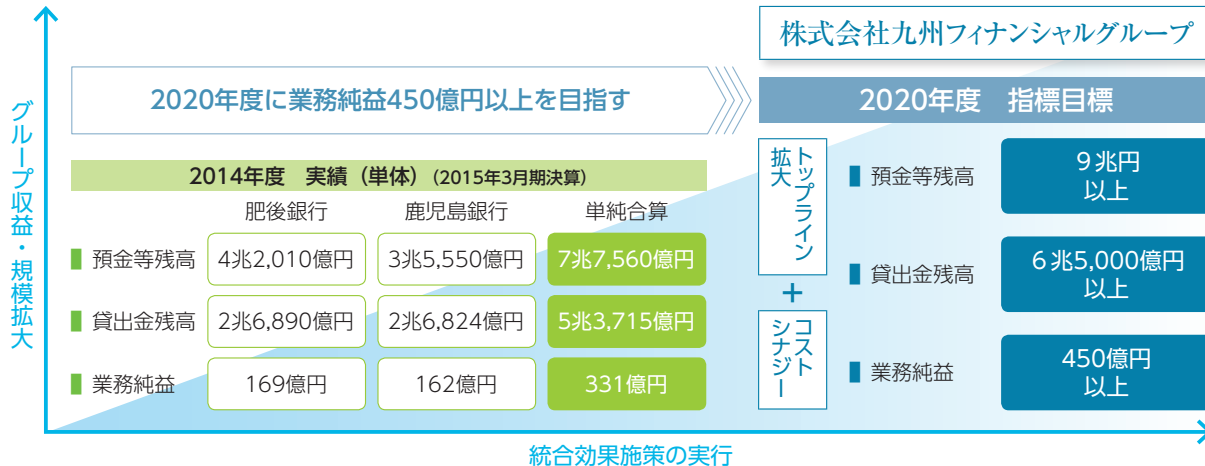


営業戦略

1. 地域活性化戦略
2. 広域化戦略
3. 国際化戦略
4. 新分野戦略
5. 組織態勢強化・効率化戦略

指標目標

統合による相乗効果を最大限に発揮することで、お客様満足度の向上を追求し、質・量ともに「九州」トップの総合金融グループを目指します。



スケジュール

2015年10月1日 (予定) 持株会社設立 (効力発生日) および持株会社上場日

単体財務諸表 (第144期)

貸借対照表 (平成27年3月31日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	294,480	預金	3,875,035
コールローン	147	譲渡性預金	326,004
買入金銭債権	806	債券貸借取引受入担保金	74,894
特定取引資産	1,830	特定取引負債	591
金銭の信託	4,942	借入金	42,403
有価証券	1,633,265	外国為替	34
貸出金	2,689,079	その他負債	71,434
外国為替	4,479	役員賞与引当金	78
その他資産	42,302	退職給付引当金	8,398
有形固定資産	53,822	偶発損失引当金	395
無形固定資産	5,779	睡眠預金払戻損失引当金	852
前払年金費用	3,676	繰延税金負債	12,454
支払承諾見返	9,634	再評価に係る繰延税金負債	4,886
貸倒引当金	△19,629	支払承諾	9,634
		負債の部合計	4,427,098
		純資産の部	
		資本金	18,128
		資本剰余金	8,133
		資本準備金	8,133
		その他資本剰余金	0
		利益剰余金	215,585
		利益準備金	18,128
		その他利益剰余金	197,456
		不動産圧縮積立金	355
		別途積立金	181,387
		繰越利益剰余金	15,714
		自己株式	△141
		株主資本合計	241,706
		その他有価証券評価差額金	55,369
		繰延ヘッジ損益	△5,614
		土地再評価差額金	6,058
		評価・換算差額等合計	55,813
		純資産の部合計	297,519
資産の部合計	4,724,617	負債及び純資産の部合計	4,724,617

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：百万円)

経常収益	71,488
資金運用収益	53,318
(うち貸出金利息)	(35,599)
(うち有価証券利息配当金)	(17,040)
役員取引等収益	11,823
特定取引収益	32
その他業務収益	1,860
その他経常収益	4,452
経常費用	51,221
資金調達費用	5,655
(うち預金利息)	(1,628)
役員取引等費用	4,287
その他業務費用	1,066
営業経費	38,382
その他経常費用	1,829
経常利益	20,267
特別利益	211
特別損失	233
税引前当期純利益	20,244
法人税、住民税及び事業税	6,771
法人税等調整額	1,251
法人税等合計	8,023
当期純利益	12,221

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表(第144期)

連結貸借対照表 (平成27年3月31日現在)

(単位: 百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	294,806	預金	3,870,534
コールローン及び買入手形	147	譲渡性預金	326,004
買入金銭債権	806	債券貸借取引受入担保金	74,894
特定取引資産	1,830	特定取引負債	591
金銭の信託	4,942	借入金	56,060
有価証券	1,629,695	外国為替	34
貸出金	2,669,577	その他負債	77,489
外国為替	4,479	役員賞与引当金	78
リース債権及びリース投資資産	23,873	退職給付に係る負債	8,823
その他資産	62,672	偶発損失引当金	395
有形固定資産	54,219	睡眠預金払戻損失引当金	852
無形固定資産	6,517	繰延税金負債	11,835
退職給付に係る資産	1,578	再評価に係る繰延税金負債	4,886
繰延税金資産	372	支払承諾	9,634
支払承諾見返	9,634	負債の部合計	4,442,115
貸倒引当金	△20,804	純資産の部	
		資本金	18,128
		資本剰余金	8,133
		利益剰余金	219,635
		自己株式	△141
		株主資本合計	245,756
		その他有価証券評価差額金	55,519
		繰延ヘッジ損益	△5,614
		土地再評価差額金	6,058
		退職給付に係る調整累計額	△1,512
		その他の包括利益累計額合計	54,450
		少数株主持分	2,026
		純資産の部合計	302,233
資産の部合計	4,744,349	負債及び純資産の部合計	4,744,349

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位: 百万円)

経常収益	86,964
資金運用収益	53,400
(うち貸出金利息)	(35,674)
(うち有価証券利息配当金)	(17,048)
役員取引等収益	11,730
特定取引収益	32
その他業務収益	17,299
その他経常収益	4,501
経常費用	65,410
資金調達費用	5,749
(うち預金利息)	(1,627)
役員取引等費用	3,802
その他業務費用	13,733
営業経費	40,131
その他経常費用	1,993
経常利益	21,553
特別利益	312
特別損失	233
税金等調整前当期純利益	21,632
法人税、住民税及び事業税	7,238
法人税等調整額	1,347
法人税等合計	8,585
少数株主損益調整前当期純利益	13,047
少数株主利益	159
当期純利益	12,887

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位: 百万円)

少数株主損益調整前当期純利益	13,047
その他の包括利益	15,561
その他有価証券評価差額金	16,683
繰延ヘッジ損益	△2,223
土地再評価差額金	503
退職給付に係る調整額	598
包括利益	28,608
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	28,436
少数株主に係る包括利益	172

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

総合的に地域貢献する銀行グループ

当行グループは、当行、連結子会社7社で構成され、銀行業務を中心にリース業務、クレジットカード業務、信用保証業務等の金融サービスに係る業務を行っております。

会社名	所在地	業務内容	URL
肥銀リース株式会社	〒862-0949 熊本市中央区国府1丁目20番1号 TEL:096-363-6611	リース・貸付業務	http://www.higinlease.co.jp/
肥銀カード株式会社	〒860-0845 熊本市中央区上通町10番1号 TEL:096-359-8311	クレジットカード及び信用保証業務	http://www.higincard.co.jp/
株式会社肥銀 コンピュータサービス	〒860-0051 熊本市西区二本木5丁目1番8号 TEL:096-326-8662	計算受託及びソフト開発等の業務	http://higinco.co.jp/
肥銀キャピタル株式会社	〒860-0807 熊本市中央区下通1丁目9番9号 TEL:096-311-5922	有価証券の取得・保有・売却及び 企業診断業務	http://www.higincapital.co.jp/
株式会社肥銀用度センター	〒860-0083 熊本市北区大窪1丁目1番26号 TEL:096-325-3788	文書等の整理集配送及び物品管理業務	—
肥銀ビジネス開発株式会社	〒862-0949 熊本市中央区国府1丁目20番1号 TEL:096-366-1800	労働者派遣及び有料職業紹介業務	http://www.higinbk.co.jp/
肥銀事務サービス株式会社	〒860-0051 熊本市西区二本木5丁目1番8号 TEL:096-326-8698	後方事務等業務処理受託業務	—

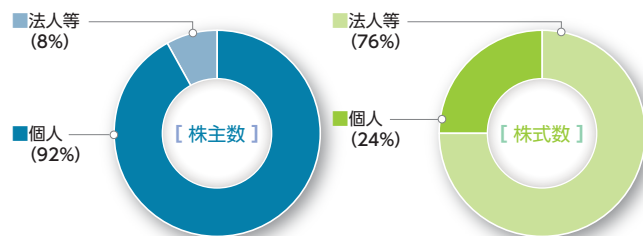
- 創 立 大正14年7月25日
- 資 本 金 181億2千8百万円
- 本 店 熊本市中央区紺屋町一丁目13番地5
(平成27年5月7日より
熊本市中央区練兵町1番地)
- 店 舗 数 122 (このほか海外駐在員事務所1)
- 従 業 員 2,234名
- 役 員
 - 代表取締役頭取 甲 斐 隆 博
 - 代表取締役専務執行役員 下 山 史一郎
 - 代表取締役専務執行役員 上 野 豊 徳
 - 取締役常務執行役員 岡 崎 雄 介
 - 取締役常務執行役員 最 上 剛
 - 取締役常務執行役員 西 本 純 一
 - 取締役上席執行役員 田 島 功
 - 取締役上席執行役員 土 山 哲 司
 - 社 外 取 締 役 益 戸 正 樹
 - 常 任 監 査 役 江 口 正 明
 - 常 勤 監 査 役 岩 本 義 弘
 - 社 外 監 査 役 前 田 晃 伸
 - 社 外 監 査 役 眞 部 利 應
 - 社 外 監 査 役 片 岡 義 広

株式の状況

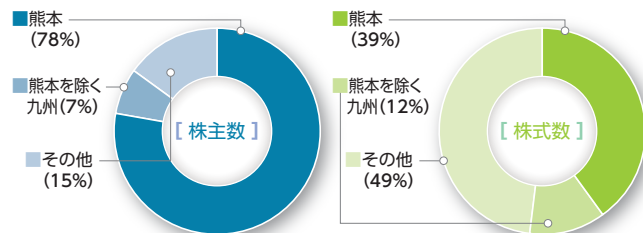
- 発行済株式の総数 230,755千株
- 株主数 8,967名
- 大株主 上位10名

株主名	持株数 (千株)	持株比率
明治安田生命保険相互会社	11,621	5.04%
宝興業株式会社	8,258	3.58%
肥後銀行従業員持株会	7,553	3.27%
株式会社みずほ銀行	6,869	2.98%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,370	2.76%
株式会社福岡銀行	5,864	2.54%
第一生命保険株式会社	5,371	2.33%
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,854	1.67%
株式会社十八銀行	3,433	1.49%
株式会社鹿児島銀行	3,372	1.46%

所有者別構成比



地域別分布



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎事業年度が終了した日の翌日から3か月以内に開催
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 電子公告 (http://higobank.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、熊本市において発行する熊本日日新聞および日本経済新聞に掲載いたします。
公告方法	

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱できませんので、ご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券株式会社では取次のみとなります）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほ証券株式会社で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行株式会社が指定する口座に送金していただく必要があります。 また、特別口座では、配当金の受取方法につき「株式数比例配分方式」を選択することができず、少額投資非課税制度口座（NISA口座）での非課税適用を受けることができません。

上場株式配当等の支払に関する通知書について

支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

うるおいある未来のために。

肥後銀行

〒860-8615 熊本県熊本市中央区練兵町1番地

TEL 096 (325)2111

<http://www.higobank.co.jp/>

IRカレンダー

4月	
5月	● 決算発表
6月	● 定時株主総会 ● ミニディスクロージャー誌
7月	● ディスクロージャー誌
8月	● 第1四半期決算発表
9月	
10月	● アニュアルレポート
11月	● 第2四半期決算発表
12月	● 中間ミニディスクロージャー誌
1月	● 中間ディスクロージャー誌
2月	● 第3四半期決算発表
3月	

ホームページのご案内



肥後銀行

検索

<http://www.higobank.co.jp/>

UD
FONT

見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。

